

## 教科等研究会（中学校社会科部会）

### 令和5年度 研究活動のまとめ

#### 1 研究テーマ

民主主義の担い手に必要な資質・能力を育む社会科の探求  
～生徒の「問い」を生み出す授業デザインの工夫～

#### 2 研究経過

月日（曜日）	活動内容	活動場所	人数
6月9日（金）	第1回上益城郡教科等研究会中学校社会科部会（半日） 本年度研究テーマ協議、研究組織づくり等	益城町立 益城中学校	19名
8月22日（火）	第2回上益城郡教科等研究会中学校社会科部会（終日） 夏季巡検 コストコ熊本御船倉庫店他		19名
11月30日（木）	第3回上益城郡教科等研究会中学校社会科部会（半日） 研究授業および授業研究会 【地理的分野】1年生「北アメリカ州」 授業者：御船町立御船中学校 藤江 美由紀 講師	御船町立 御船中学校	19名
1月26日（金）	第4回上益城郡教科等研究会中学校社会科部会（半日） 今年度の反省および次年度への志向	益城町立 益城中学校	19名

#### 3 研究の概要

##### （1）研究テーマ

県社研の研究テーマ「民主主義の担い手に必要な資質・能力を育む社会科の探求」のもと、「単元を再構成して取り組む単元デザイン」や「生徒の問いを生み出す工夫」を実践の柱として研究に取り組んだ。

##### （2）研究の内容（夏季巡検、研究授業及び授業研究会）

8月の夏季巡検においては、嘉島広域農場の特別顧問から「広域農場の利便性と展望」について講話いただいた。また、コストコ熊本御船倉庫店では店内を視察するとともに、「大型商用施設の実際」について講話いただいた。

今回の巡検先の選定については、本郡の研究授業の単元となる「北アメリカ州」の学習に合わせて行った。上益城にある地理的に価値のある教材を発掘することができた。

11月の授業研究会では、事前研で練り上げた学習構想案をもとに研究授業を実施した。授業研究会では、「単元を再構成して取り組む単元デザイン」や「生徒の問いを生み出す工夫」を討議の柱として、教材や発問、学習形態などについて活発に意見交換がなされた。



【かしま広域農場の様子】



【コストコ店内の陳列方法の紹介】



【SDDs の観点から段ボールのリサイクル】

(3) 成果と課題 (○成果 ●課題)

- 巡検先の選定に研究授業の内容を関連づけることで、実際の授業をイメージしながら巡検を行えた。
- 研究テーマを意識して議論し合う中で、共通の悩みや優れた実践事例を聞くことができた。今後の参考になる協議であった。
- 巡検先が上益城郡内に限定されており、その選定には苦慮している。実際の授業に生かせる教材を求めて、他管内も巡検先にできるよう要望したい。
- すべての部員が研究授業づくりに積極的に参加しているかということそうではない現状がある。今後、すべての部員が参加したくなるような企画をつくっていかなければならない。参加することで有益になるような情報や学びの場をつくっていく。

4 実践事例

(1) 研究授業及び授業研究会の概要

1 年生「北アメリカ州の生活文化」  
 授業者：御船中学校 藤江 美由紀 講師

単元を通して、「北アメリカ州の力の源は何か。」という課題を設定した。多面的・多角的に考え、よりよい社会の実現のために解決すべき地域的な課題を見出すことができる生徒の育成を目指し、授業づくりを行った。

実際の授業では、「アメリカの生活文化の魅力の秘密は何だろう。」というめあてを設定し、マクドナルドとコストコ、iphone の魅力について各班で考え、発表させた。「大量生産」、「先端技術」に着目し、それがアメリカの魅力につながっていることを生徒たちが理解した授業となった。

追及課題として「魅力を生み出し、広げる移民の原動力とは何か。」という問いを生徒に考えさせ、アメリカを支えている移民についての理解を深めさせた。

授業後の研究会では、ICT 機器を用いて、調べさせたり発表させたりすることが良かったという意見や導入で生徒の興味関心を高めさせることが良かったという意見があった。自分の意見を考えるためにどんな資料をどのくらい準備するべきかといった意見も出され、考えを深めるための補助発問についても様々な意見が出された。



【授業の導入場面】



【ICTを使った調べ学習・話し合い活動】

(2) 学習構想案 ※藤江講師の構想案より抜粋

1 単元構想

単元名		第2章 4節「北アメリカ州」(東京書籍 P.100~113)	
単元の目標		<p>(1) 北アメリカ州に関する様々な資料を活用しながら、「アメリカの力の源は何だろう」を主題として、北アメリカ州の地域的特色を理解することができる。</p> <p>(2) 北アメリカ州の地域的特色やアメリカのもつ力について、多面的・多角的に考察し、「アメリカの力の源は何だろう」について適切に表現することができる。</p> <p>(3) 北アメリカ州に対する関心を高め、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる地域的な課題を主体的に追究しようとする態度を養う。</p>	
単元終了時に期待する生徒の姿			
北アメリカ州の大国アメリカの力の源は何かについて多面的・多角的に考え、よりよい社会の実現のために解決すべき地域的な課題を見出すことができる生徒			
指導計画と評価計画 (5時間取扱い 本時 4/5)			
過程	時間	主発問及び 主に働かせたい見方・考え方	身につけさせたい力 (知・技 / 思・判・表 / 態)
課題把握	1	<p>○北アメリカ州には、どんな場所があるだろう。 【位置や分布】 【場所】</p> <p>○アメリカには、どのような人々が暮らしているのだろう。 【地域】 【空間的相互依存作用】</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>北アメリカ州の自然、文化、産業の特色について、雨温図、分布図、写真などの資料から概観し、基礎的・基本的な知識を身に付けることができる。(知・技)</li> <li>特にアメリカに注目し、アメリカを構成している人々の多様性について関心を高めることができる。(態)</li> </ul>
	単元を貫く課題：アメリカの力の源は何だろう。		
課題追究	1	○アメリカの農業生産力の秘密は何だろう。 【地域】 【空間的相互依存作用】	・アメリカが多様な農産物を大量に生産できる理由を、気候、生産方式、農場経営の仕方などの特色から説明することができる。(思・判・表)
	1	○アメリカの工業生産力の秘密は何だろう。 【地域】 【空間的相互依存作用】	・アメリカの重工業や先端技術産業が発展した理由を、広大な国土と豊かな資源に加えて、ヨーロッパ州やアジア州からの移民を取り上げ説明することができる。(思・判・表)
	1 本時	○アメリカの生活文化の魅力の秘密は何だろう。 【地域】 【空間的相互依存作用】	・アメリカの生活文化が世界に広がっている理由を、その魅力とそれを生み出し広げた移民に着目して移民に着目して説明することができる。(思・判・表)
課題解決	1	<p>○単元を貫く課題に答えよう。</p> <p>○北アメリカ州の地域的課題は何だろう。 【地域】 【空間的相互依存作用】</p>	・これまでの学習を生かして、自分の言葉で表現することができる。(思・判・表)

○ 本時の学習

- ・目標 アメリカの生活文化が世界に広がっている理由について、その魅力とそれを生み出し広げた移民に着目して説明することができる。
- ・展開

過程	時間	学習活動 (◇予想される生徒の発言 ◆生み出した問い)	指導上の留意事項
導入	10分	<p>1 農業生産力と工業生産力から、アメリカの生活文化に登場したものについて考える。 ◇ドライブスルー</p> <p>2 日本で親しみのあるアメリカの生活文化にはどんなものがあるか、大企業が生産しているものから考え、それらが日本や世界に広がっていることを確認する。</p> <p>◆なぜ、アメリカ生まれのものがこんなに世界に広がっているのだろう。</p>	<p>○小麦の生産、牛肉の生産、自動車保有台数、ハイウェイの資料をヒントとして提示する。</p> <p>○グローバルブランドランキング、アメリカ生まれの大企業の本社の地図を提示する。</p> <p>マクドナルドとコストコとiPhoneの資料提示。</p>
展開	20分	<p>【学習課題】アメリカの生活文化の魅力の秘密は何だろう。</p> <p>3 マクドナルド、コストコ、iPhone から班で1つ選び、その魅力について考える。</p> <p>◆マクドナルドの魅力は、手軽に食べられておいしい。 ◆コストコの魅力は、お得だし店内が楽しい。 ◆iPhoneの魅力は、これひとつでいろんなことができる。</p> <p>4 魅力の秘密について考える。 ◇同品質をいつでも安く提供してくれる。(大量生産) ◇高品質を低価格で提供してくれる、季節のものを先取りして販売してくれる。(大量生産) ◇便利な機能やサービスを提供してくれる。(先端技術)</p>	<p>○くじを引いてどの魅力について考えるか決める。</p> <p>考える視点として、基本メニュー、商品陳列、便利さをヒントとして与える。</p>
		<p>5 移民が生まれた国を出て、アメリカにやってきた目的は何か考える。</p> <p>【追究課題】魅力を生み出し広げる移民の原動力とは何だろう。</p> <p>6 アメリカの生活文化が世界に広がっている理由について、個人で考えをまとめ、ペアで発表し、提出する。</p>	<p>○生まれた国を出たのはなぜか考えさせる。</p> <p>○書けない生徒は、ペアの表現を参考にして書いてみるよう声かけをする。参考にさせてもらった人の名前を書くようにする。</p>
終末	10分		

(3) 本時の評価

評価の観点	評価基準
思考・判断・表現	A: アメリカの生活文化が世界に広がっている理由について、生活文化自体の魅力とそれを生み出した移民の思いに着目して説明することができる。
	B: アメリカの生活文化が世界に広がっている理由について、生活文化自体の魅力に着目して説明することができる。